

# 水を仕事にする



発行所  
日本水道新聞社  
本社: 〒102-0074 東京都千代田区九段南4-9-9  
TEL 03(3264)6721  
FAX 03(3264)6725  
編集部署: 03(3264)6722  
大阪: 〒541-0051 大阪府中央区備後町3-3-9  
TEL 06(6125)3630  
FAX 06(6125)3866  
http://www.suido-gesuido.co.jp

**水ing 株式会社**  
新卒採用サイト  
QRコード

**就職活動応援特集**  
日本水道新聞社 特設サイトでデータ版公開  
日本水道新聞 / 日本下水道新聞 共同編集



### ■ 変わりゆく社会

大学、高専、専門学校、高校、それぞれの学びの場が置かれる環境は、コロナ禍により大きく変化した。

授業、サークル・部活動、友人関係やアルバイトのあり方の変化は、社会人を取り巻く環境の変化よりも劇的なものだったように思う。そしてコロナ禍は、働くこと、就職することへの考え方もそれぞれの目線で影響を及ぼしたのではなかなうか。

この新聞で紹介する水を仕事にする企業は、コロナ禍前と変わらずに、むしろこれまで以上に次世代の力を求めている。

### ■ 不変な仕事

水の仕事の特徴の一つは「安定性」だ。水は生き物が存在する限り不可欠な存在であることは言うまでもない。

水の存在はコロナ禍により一層高まった。感染症予防のための安全な水に手を洗おうという人が多い人の習慣として定着した。コロナ禍以降、全国の水使用量は増加傾向となっている。

使う水だけでなく、使った水への注目も高まる。下水道を流れる水に集まる情報感染症の流行の兆候を早く捉える存在として関心を集めている。

そして、各地で相次ぐ豪雨災害は、水の姿が大きく変わった結果であり、もたぎれる災害から人の命と営みをまもることが水の仕事の使命となる。

恵みと災い、双方の視点から水の仕事は不可欠

## 最先端の環境、安定と挑戦

### ■ 変えていく挑戦

ただ安定しているわけではなく、そこには挑戦のフィールドも大きく広がっている。

今、1億2000万人を超える日本の人口は2050年には1億人、2100年には6000万人にまで減少する予想されている。そして今あるインフラは時とともに老朽化していく。

現存する上下水道のインフラを今の形で残していくことは現実ではない。

安定を維持していくため、変えていくことがこれからの水の仕事に求められる挑戦だ。

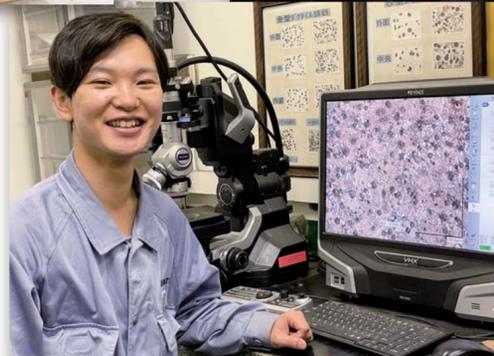
国際社会も変わっていく。言うまでもなく、世界でも水の仕事は不可欠な存在だ。日本とは対照的に世界の人口増加が続いている。人が増え、水が不足し、水インフラの整備ニーズは拡大の途をたどる。しかし、拡大はいつまでも続かない。日本の未来は、世界の未来になる。

日本で水を仕事にすることは、世界の最先端を走ることになる。

### ■ 水から見る社会

変わっていく社会の中で、水の恩恵を変わらずに享受し、命と営みを守っていくための水を仕事にする、企業の挑戦。そこで働く人々の姿から「水を仕事にする」選択を改めて見よう。

変わっていくと、変わらないこと、劇的に変化を遂げるコロナ禍の今だからこそ、水から見えてくるものがある。



### 目次

〈ワークスタイル〉  
若手社員の1日.....6~8面  
管清工業、クボタ、水道機工、大成機工、東京都下水道サービス、フソウ

〈各企業 仕事の現場〉  
各社が誇る、現場で活躍する社員.....9~14面  
三水コンサルタント、安部日鋼工業、クボタ環境サービス、ヴェオリア・ジェネッツ、荏原実業、オリジナル設計、栗本鐵工所、極東技工コンサルタント、三機工業、JFEアドバンテック、水ingAM、月島機械、東京水道、東京設計事務所、トーケミ、日本原料、日本水工設計、NJS

〈就活ガイド〉  
上下水道関係企業 採用スケジュール.....15~18面  
上下水道業界マップ.....19面

〈上下水道の今〉  
水の仕事に興味を持ったなら  
知っておきたいキーワード.....20面



For Earth, For Life  
Kubota

## ON YOUR SIDE

1890年の創業から「食料・水・環境」の課題解決に向けて歩んできたクボタ。  
これからも一歩一歩、すべての人と心をひとつに、明日へと進み続けます。

株式会社クボタ